

平成30年3月

建設リサイクルデータ統合システム(クレダス)の廃止に伴う対応について

松山市 総務部 技術管理課

松山市では、建設副産物対策の実態を把握し、建設副産物の再資源化・縮減等の促進に資することを目的に、国土交通省が提供するアプリケーションである「建設リサイクルデータ統合システム(クレダス)」を利用してデータを収集してきたところですが、この度、国土交通省から、クレダスは平成30年3月31日をもって廃止する旨の連絡がありました。

これに伴い、松山市発注工事については、以下のとおり対応することとしましたのでお知らせします。

1. 建設副産物情報交換システム(コブリス)利用への移行

(1) 概要

クレダスを利用して行っていたデータ作成を、一般財団法人日本建設情報総合センター(JACIC)が提供するオンラインのシステムである「建設副産物情報交換システム(コブリス)」への情報登録により行うこととします。

コブリスのページ <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

※コブリスの使用にあたっては、システムへの登録が必要になります。登録手続き等の詳細については、JACICまでお問い合わせ願います。

(2) 適用

平成30年4月1日以降に完成する工事を対象とします。

なお、平成30年3月31日までに完成する工事については、従前どおり、クレダスによるデータ作成をお願いします。